

すがもらいぶらり

2023年1月5日巣鴨図書館発行



ほんの福袋

3冊セットにしてかしします。
すきなテーマのセットをかりてみよう！
12月24日(土)～1月10日(火)
12月29日(木)～1月4日(木)までおやすみです。
すがもとしゃかん じどうしつ

こどもむけ:180セット
なくなり次第終了です

すがもとしゃかん ☎03-3910-3608

なくなり次第終了です
好評開催中

テーマごとに2冊の本を選びました
普段、自分では選ばない本と出会ってみませんか…？

大人向け

本の福袋

12/24～1/10
なくなり次第終了

豊島区立巣鴨図書館 2F



じぞうくん

2023年の巣鴨図書館も
ますます元気にぎや
かになりますように！

イラスト作 S

1月の行事

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
休館	休館	休館				
8	9	10	11	12	13	14
新刊 お話会	新春おみくじ付きつり大会を、14:00～15:00まで 開始します。					
15	16	17	18	19	20	21
新刊 お話会		お話会				
22	23	24	25	26	27	28
新刊 お話会					休館	
29	30	31				
新刊 お話会						

- <日曜> 新刊本を出します。
新刊コーナーにご注目！
毎週11時から、幼児から
小学生低学年向けのお話会が
あります。
- <火曜> 第3火曜日11時から、赤ちゃん
向けお話会があります。

編集後記

2022年の巣鴨図書館は、区制90
周年を記念したさまざまな行事に取
り組みました。
いつ来ても、「何か楽しいことやっ
てる、思いがけない出会いがある」そ
んな図書館を目指して今年もかんば
ります！
どうぞよろしくお願いいたします。

俳句はじめてみませんか ～俳句は挨拶～

俳句コーナー第4回目となる今回のテーマは、ずばり、
「挨拶句」です。年末年始はご挨拶の機会が増えますが、
俳句の世界とて同じこと。歳時記は春夏秋冬別に季語が
分かれています、そこにきちんと「新年」という項が
あるんです。ほんの数日のためだけに使われる季語がある
なんて、粋なことだと思いませんか？なかには遊び心の
ある季語も。例えば「嫁が君」という季語は何を指す言葉
かご存知でしょうか。これは実は「ねずみ」を言い換えた
言葉です。ねずみは夜目がきくことからといいますが、
夜目＝嫁、これは完全なるダジャレですよ。ね。
新年にかぎらず、「俳句は挨拶」であるといえます。
季節を詠み込むのだってそう。季節に対するご挨拶です。
また、人に対する挨拶句もよく詠まれます。初めて会う人
や慶び事があった人に宛てて、その気持ちを17音に乗せ
るのです。これをさらっとさりげなく詠める人は
すごくかっこいい！瞬発力も必要なんですね。そう、
俳句って「座」のコミュニケーションのなかから生まれる
文学でもあるのです。リズムに乗せて、即興で作り上げる。
ジャズに例えるのは言い過ぎでしょうか。自由に心を遊ば
せるような、そんな空気が俳句にはあるのだと思います。

話は変わりますが、新聞のテレビ欄の「縦読み」という
のがあります。頭の文字を縦に読むと、
言葉が浮かび上がる仕掛けです。
サッカーW杯の時には「ドーハを歓喜の場に」
など、楽しませてくれました。あれは、
俳句でいう「折句」という手法です。
575の頭の文字に言葉を詠み込み、
ご挨拶に使うこともあります。でも
これって難しい。さりげなくさりげなく、
でもさりげなさすぎて、気付いて
もらえないことも・・・（泣）
挨拶句達人への道のりは険しいのです。

おすすめ本

『平凡社俳句歳時記 新年』
富安風生／編集代表
大野林火／責任編集 平凡社（911.3へ）

『掌をかざす』小川軽舟 ふらんす堂
（911.3才）

三宝に登りて追はれ嫁
虚が子君

食いしん坊司書の部屋



今月は、食べ物ネタではありませんが
新年にふさわしい
お話です。

あけましておめでとうございます。2023年もどうぞよろしくお願いいたします。

皆さんは新年を迎えてなにかお正月らしいことはしましたか？私は卯年生まれなので、いつもはあまり干支を意識しないのですが、今年は自宅にうさぎの置物を飾ってみました。新年にその年の干支の縁起物を飾ると良い年になると言われているそうです。

お正月といえば、初詣に行っておみくじを引く人も多いのではないのでしょうか。私も毎年おみくじの結果に一喜一憂してしまいます。おみくじの中でも今気になっているのが、さまざまな動物をモチーフにしたおみくじです。うさぎや鳩、狐など、かわいらしい見た目に目を引かれますが、それらは神の使いとして言い伝えられたものがモチーフにされていることが多いそうです。私は猫が好きなので、猫みくじのある神社を巡ってみたいと思っています。結果の善し悪しだけではなく、神社ごとに個性豊かなおみくじに注目してみるのも面白いかもしれませんね。

(S)

おすすめ本

『日本人にとって干支とは何かー東洋の科学「十干・十二支」の謎を解くー』
武光誠／著 河出書房新社（382タ）
『おみくじ集めハンドブッケー開運&幸せを呼びこむー』
辰巳出版（176才）

じぞうくんのそばくな疑問



新聞の束を前にして、
じぞうくんが困っています。
探している記事が見つからない様子。
そこへ一冊の本がやって来て…



縮じい「おや、何か困りごとかい？」

じぞう「えっ？誰…？」

縮じい「わしは通りすがりの新聞縮刷版じゃよ」

じぞう「おお…本が喋ってる。不思議な事もあるものだあ」

縮じい「調べ物をする地蔵もまた怪談。そんな事より、見たい記事が見つからないようじゃが」

じぞう「新聞には索引がないからね。こういうとき困るんだ」

縮じい「はっはっは。索引ならあるぞ。ほれ、わしの最初の方のページを開いてみい」

じぞう「最初の方…？あ、索引が載ってる」

縮じい「巣鴨図書館にある朝日新聞縮刷版だと、記事索引というものが巻頭にあってな。記事を色々な見出しで分類して、探しやすいようにしてあるんじゃ」

じぞう「例えば、新型コロナの日本の感染状況の記事を探したいなら、新型コロナ（肺炎）→日本→感染状況とたどっていけばいいんだね。これは便利だなあ」

縮じい「しかし弱点もある。縮刷版は月刊だから、最新記事の検索には向いてない。また、いつ頃の記事か見当がついてないと、結局、探すのに時間がかかってしまう」

じぞう「そういう場合はどうすればいいの？」

縮じい「中央図書館にはデータベースがあるから、それを使うといいじゃろな。だが、これも一長一短で、あまり古い記事だと検索できない可能性もあるのう」

じぞう「…そういう場合はどうすればいいの？」

縮じい「本と合わせて活用するんじゃよ。中央図書館には、朝日新聞の古い縮刷版も揃ってある。ぜひ両方を使いこなして、調べ物を充実させてほしいものじゃな」

じぞうくんのおすすめ本はこちら

『情報サービス演習 3訂』
原田智子／編著 樹村房
（O10ケ）

キッチンカー来たる！

巣鴨図書館前庭に
キッチンカーが来ているのをご存じですか？

1月はこんなお店がきてくれます。
スケジュールはカレンダーをご確認ください。

A: ブルーポピー〈クレープ〉
B: バインミーリエン〈バインミー/ホー〉
C: 池谷商店〈おこぼん〉
D: Waffle khan〈ワッフル〉
E: BANSUN FoodTruck〈ナポリピッツァ〉
F: ミスターフーズ〈タコライス/タコス〉
G: R Spot〈クレープ/ホットサンド〉
H: みなとかふ Bloom〈クレープ〉
I: Little Happiness
〈カレー、日替わりランチ、ホットドッグ〉
J: キッチンカーfriends〈焼肉丼、油淋唐揚げ丼〉

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5 A	6 B	7
8	9	10	11 B	12 C	13 D	14
15	16	17	18 A	19 F	20 G	21 E
22	23	24 H	25 A	26 I	27	28 J
29	30	31 B				

※天候などによりキッチンカーの出店を取りやめる場合があります。